

# 一般科目

## 1. 概要

21世紀を迎えた現代は、過去のどの時代にも見られないほど科学・技術が発達し、また国際化が進んできた。それに比して、人間性はむしろ希薄となり、個人の能力を超えて発達していく科学・技術によって従来の価値観が変えられ、その急激な変化にとまどいを感じている人が少なくない。一方、教育現場では対人関係やアイデンティティの問題にうまく適応できない学生をはじめ、新たに様々な問題が生じているのが現状である。

いかに科学・技術が発達しても、その科学・技術を用いる人間そのものが、優れた識見と豊かな人間性を備えていなければならないということは過去の歴史が明確に示しているところである。ところが、今日の社会では、すべての分野で細分化と専門化が進行しており、その結果、学校教育もまた細分化、専門化がなされている。これは全人教育という面において少し軽視される状況が出てきているのではないかと我々は危惧している。

そうした点から、本校においては「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成（学校教育法第70条の2、本校学則第1条）」する専門教科とあいまって、豊かな人間性と優れた識見を備えた学生を育成することが、一般教科に課せられた教育理念と捉えている。

本校の校訓には「志操高く、視野広く、身体たくましく、基礎学力を深め、創造的能力を磨き、汝の使命の達成に命をかけて生きよ」と謳っているが、まさにこれこそ、一般教科の目指す目標なのである。

高等専門学校は、中学校を卒業した若い15歳の学生を受け入れ、僅か5年間で社会人として必要な一般教養を修得させ、専門の学芸と職業に必要な能力を身につけさせ、専門の技術者として実社会へ送り出さなければならないので、大学等に比して一般教科の任務は重大である。

更に、一般教科では新指導要領によるゆとり教育等の導入を踏まえて、教科内容を点検し、見直しすることが行われている。

## 2. 授業内容

本校の一般科目では、人間教育、人格形成を重視し、志操高く、視野広い人間を育成するために、国語、歴史、哲学、倫理・社会、政治・経済、法学、地理の緒科目、健全な心身を形成するために体育科目、豊かな情操を育てるために美術、音楽、書道の芸術科目、さらに、専門教育につながる基礎学力の向上を図るものとして、数学、物理、化学の緒科目が課されている。また、ますます国際化していく社会に適応できる人間を育成するために、英語、ドイツ語の外国語を重視しており、特に、数学においては習熟度別授業を導入することによりきめの細かい指導を行っている。これにより、従来不足しがちであった演習を積極的に取り入れた授業を行うことに努めている。

## 一般科目

(平成16年度以降入学者)

授業科目	単位数	学年別単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語	6	3	3			
	国語A	2			2		
	国語B	1			1		
	倫理・社会	2		2			
	政治・経済	2			2		
	歴史	4	2	2			
	地理	2	2				
	基礎数学I	4	4				
	基礎数学II	4	2	2			
	微分積分学	6		4	2		
選択科目	応用解析学	4			4		
	物理	5	3	2			
	化学	5	3	2			
	保健・体育	10	3	3	2	1	1
	音楽	2	1	1			
	美術	2	1	1			
	書道	2	1	1			
	英語I	8	2	3	3		
	英語II	6	2	2	2		
	英語III	1	1				
計		74	28	26	18	1	1
選択科目	文学特論	1				1	
	社会特論	1					1
	自然特論	1					1
	英語特論	1				1	
	数学概論I	1				1	
	数学概論II	1				1	
	数学概論III	1					1
	英語IV	2				2	
	英語V	1					1
	英語VI	1					1
	独語I	2				2	
	独語II	2					2
	中国語I	2				2	
	中国語II	2					2
	哲学	2				2	
	法学	2					2
履修単位数		75以上	28	26	18	3以上	

## 一般科目

(平成15年度入学者)

授業科目	単位数	学年別単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	5年	
必修	国語	6	3	3			
	国語A	2			2		
	国語B	1			1		
	倫理・社会	2		2			
	政治・経済	2			2		
	歴史	4	2	2			
	地理	2	2				
	基礎数学I	4	4				
	基礎数学II	4	2	2			
	微分積分学	6		4	2		
科目	応用解析学	4			4		
	物理	5	3	2			
	化学	5	3	2			
	保健・体育	10	3	3	2	1	1
	音楽	2	1	1			
	美術	2	1	1			
	書道	2	1	1			
	英語I	8	2	3	3		
	英語II	6	2	2	2		
	英語III	1	1				
計		74	28	26	18	1	1
選択科目	文学特論	1				1	
	社会特論	1					1
	自然特論	1					1
	英語特論	1				1	
	数学概論I	1				1	
	数学概論II	1				1	
	数学概論III	1					1
	英語IV	2				2	
	英語V	1					1
	英語VI	1					1
	独語I	2				2	
	独語II	2					2
	中国語I	2				2	
	中国語II	2					2
	哲学	2				2	
	法学	2					2
履修単位数		75以上	28	26	18	3以上	

## 一般科目

(平成14年度入学者)

授業科目	単位数	学年別単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	5年	
必修	国語	6	3	3			
	国語A	2			2		
	国語B	1			1		
	倫理・社会	2		2			
	政治・経済	2			2		
	歴史	4	2	2			
	地理	2	2				
	基礎数学I	4	4				
	基礎数学II	4	2	2			
	微分積分学	6		4	2		
科目	応用解析学	4			4		
	物理	5	3	2			
	化学	5	3	2			
	保健・体育	10	3	3	2	1	1
	音楽	2	1	1			
	美術	2	1	1			
	書道	2	1	1			
	英語I	7	2	2	3		
	英語II	6	2	2	2		
	英語III	2	1	1			
計		74	28	26	18	1	1
選択科目	文学特論	1				1	
	社会特論	1					1
	自然特論	1					1
	英語特論	1				1	
	数学概論I	1				1	
	数学概論II	1				1	
	数学概論III	1					1
	英語IV	2				2	
	英語V	1					1
	英語VI	1					1
	独語I	2				2	
	独語II	2					2
	中国語I	2				2	
	中国語II	2					2
	哲学	2				2	
	法学	2					2
履修単位数		75以上	28	26	18	3以上	

1科目2単位を選択必修

## 一般科目

(平成13年度入学者)

授業科目	単位数	学年別単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	5年	
必修科	国語	9	3	3	2	1	1科目2単位を選択必修
	倫理・社会	2		2			
	政治・経済	2			2		
	歴史	4	2	2			
	地理	2	2				
	基礎数学Ⅰ	4	4				
	基礎数学Ⅱ	4	2	2			
	微分積分学	6		4	2		
	応用解析学	4			4		
	物理	5	3	2			
選択科目	化学	5	3	2			
	保健・体育	10	3	3	2	1	
	音楽	2	1	1			
	美術	2	1	1			
	書道	2	1	1			
	英語I	8	2	2	2	2	
	英語II	6	2	2	2		
	英語III	2	1	1			
	独語I	2			2		
	計	77	28	26	18	4	
選択科目	文学特論	1				1	
	社会特論	1				1	
	自然特論	1				1	
	英語特論	1				1	
	数学概論I	1				1	
	数学概論II	1				1	
	数学概論III	1				1	
	英語IV	2				2	
	英語V	1				1	
	独語II	2				1	
	哲学	2				2	
	法学	2				2	
履修単位数		77以上	28	26	18	4以上	1以上

[第 1 学年]





科目名	地理			担当教員	細谷 守			
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修			
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	08G01_20050			
学習目標	1. 地図・ノート・統計表等を利用して、現代社会の諸事象の展開を理解する。 2. 現代社会を教科書・書籍・マスメディアを通して関心を持って直視できる姿勢をつける。 3. 地球的課題が存在し、その解決のためには国際協力が必要であることを理解する。							
進め方	各学習項目ごとに、教科書・地図帳・ノート等を利用し、キーワードの確認・理解・延長へと学習内容を進めていく。 また、授業には参加型学習の形態を取り入れ、興味関心を強めるよう導く。そして、現代社会の問題点が地域から全体へ、過去から現代に通じるものであるという共時的、通時的考え方を身につけさせることにより、我々の行動に責任が要求されていることを自覚させる。							
履修要件								
	学習項目	(時間数)	学習到達目標					
学習内容	1 球面上の世界と地域構造	(2)	地図を利用し、世界の中での日本の位置の把握や領域等の現状を理解する。					
	2 世界地図の種類と特徴	(2)						
	3 時差の求め方	(2)						
	4 国家と地域区分	(2)	商業地理の現状を理解する。					
	5 消費行動の変化と地域差	(2)	近隣の生活と文化の実態を理解し、共生の考えを身につける。					
	6 中国の生活・文化	(2)						
	7 東南アジアの生活・文化	(2)						
	8 前期中間試験	(1)	人・物・情報の移動に伴う世界の結びつきを学ぶ。					
	9 世界を結ぶ交通	(2)						
	10 世界を一つに結ぶ通信	(2)						
	11 国際化する人々の移動	(2)						
	12 拡大する世界の貿易	(2)						
	13 さまざまな余暇活動	(2)	IT先進地域としての背景と両国の問題点を理解する。					
	14 インドの生活・文化	(2)						
	15 アメリカ合衆国の生活・文化	(2)						
	16 前期期末試験	(1)						
	17 試験問題の解答と授業評価アンケート	(1)						
	18 世界の人口問題	(2)	現在の人口問題の解決策を考える。					
	19 世界の食料問題	(2)	輸入食料に頼る問題点を考える。					
	20 世界の都市・居住問題	(2)	都市開発のあり方を考える。					
	21 世界の資源・エネルギー問題	(2)	資源問題の現状を理解する。					
	22 西アジアの生活・文化	(2)	開発途上国との現状を通じて、異文化の特性を理解する。					
	23 アフリカの生活・文化	(2)						
	24 後期中間試験	(1)						
	25 世界の環境問題	(2)	環境問題に关心を深め、資源の有限性・地球温暖化の実態を学び、各国の協力による共生の大切さを把握する。					
	26 近隣諸国の地域汚染への取り組み	(2)						
	27 近隣諸国の森林破壊への取り組み	(2)						
	28 ヨーロッパの生活・文化	(2)	さまざまな地域の特性を理解することで、相互理解の大切さと、各地域の幸福を願う姿勢を理解する。					
	29 ロシアの生活・文化	(2)						
	30 ラテンアメリカの生活・文化	(2)						
	31 韓国の生活・文化	(2)						
	32 学年末試験	(1)						
	33 試験問題の解答と地理の総括	(1)						
	34							
	35							
評価方法	定期試験 70 %、作業ノート・課題レポートの提出等 30 %の比率で総合評価する。							
関連科目	倫理・社会、歴史、政治・経済							
教材	教科書：高橋 彰 他 著「高等学校 新地理A 初訂版」 教科書：山本正三 他 著「基本地図帳 改定版」 傍用問題集：帝国書院編集部 著「高等学校 新地理Aノート 初訂版」							
備考	特になし。							











科目名	音楽			担当教官	穴吹昌子					
学年	1年		学期	通年	履修条件	必修	単位数			
分野	一般		授業形式	講義, 実技	科目番号	08G01 20130	単位区分 履修単位			
学習目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞能力を伸ばす。音楽に対する関心を高め、想像力豊かな有為な人格を育成する。									
進め方	・基礎的技能と表現能力を伸ばす。音に対する敏感な感性を育てる環境に配慮する。									
履修要件										
学習内容	学習項目 (時間数)				学習到達目標					
	1.発声の基本(1)				ストレッチの重要を学ぶ		B2:1			
	2.校歌(2)				愛校心を育て、音による豊かな感性を育む		B2:2			
	3.井上陽水の作品(3)				3~5. 良質の楽曲に出会い、その曲想にのって声をたっぷりと出し、歌うことの楽しさを積極的に味わう		B1:1			
	4.ビートルズの作品(1)									
	5.杉本竜一の作品(2)									
	6.主要音楽用語のテスト, 答案解説(2)									
	7.聴音のテスト, 答案解説(2)									
	8.ミュージカル作品(2)				8,9. ミュージカルの古今の名作に触れ、広く劇音楽というものへの興味、関心を高める		A1:3			
	9.映画音楽(2)									
	10.季節と歌う(1)									
	11.現代の日常耳にする楽曲(4)				現代性とポピュラリティーに的を絞って、音楽的、教育的価値を多角的に捉える。					
	12.民族音楽(1)						B1:1			
	13.日本の歌(5)				日本語の美しさを歯切れのよいすっきりとした発音と表情で歌う					
	14.鑑賞(1)									
	15.小論文(1)									
評価方法	授業態度、試験、実技点を総合評価する。									
関連科目	芸術科目									
教材	教科書：山本文茂著「改訂新版 高校生の音楽1」 音楽之友社									
備考	特になし									

科目名	美術			担当教員	永井 崇幸				
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数			
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	08G01_20140	単位区分			
学習目標	写実描写、構想画、デザイン画などの絵画表現や鑑賞を通して、創造力を伸ばし、豊かな感性と心情を養う。言葉では表現できないことを感じる美意識を深める。								
進め方	相対するイメージを比較することでその本質を見定め、イメージを膨らませて自己の表現を追求させる。								
履修条件									
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標					
	1. 鉛筆デッサン— ペンを持った手（2）  2. 記憶の絵地図（4） 着彩  3. 構成と表現  (1)「楽しい」と「悲しい」の表現 (2) 着彩 (2)「寒い」と「暖かい」の表現 (4) 着彩 (3)「明るい」と「暗い」の表現 (6) 着彩  4. 精密描写（1 2） 鉛筆デッサン、着彩			鉛筆で明暗をつけ、手の立体感と質感を表現する。 2つの異なる物質を表現する際には、質感や大きさなどが相互に関わりあうことを知る。 E6:1  自分がすごした幼児期・年少期を思い出し、他の人が見てわかりやすい表現をする。 B2:1  自宅周辺をあらゆる絵画表現方法を使って、分かりやすく楽しい絵地図として表現する。 B2:1  枠の中に着色できる。混色が出来る。比較することで観念的でないイメージを膨らませる。 E6:1  身近にある工業製品の精密描写を試みることで機能美、材質の特性、ロゴマーク、配色などを学習し、立体的な表現が出来る。 B2:1  デッサンをして淡彩画の着色をする。 E6:1					
評価方法	自らのイメージを豊かに膨らますことで、型に入らない新鮮な発想とそれを表現する手段を養うことは、未来を担う技術者の育成に重要である。								
	自己のイメージをどのように豊かに表現出来ているか。学習内容の全実技作品を時間数の割合で点数化して評価（90%）（作品が授業時数に相応しい内容で完成。60%）、制作態度(10%)を考慮して総合的に評価する。								
関連科目	特になし。								
教材									
備考	自主的に美術館・ギャラリーなど鑑賞した際のレポートは、隨時受けます。 スケッチブックと絵の具（アクリルガッシュ）を購入。（2年間使用）								



科目名	英語 I			担当教員	森 和憲					
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数				
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	08G01_20160	単位区別				
学習目標	本科目は、英語を読む、聞く、話す、書く上で、全ての基礎となる文法力を集中的に強化することを目指す。そのため本科目では、単に英文を暗記することによってではなく、数多くの応用問題を解きこなすことにより、帰納的に英文法への理解を深めるようなアプローチを取る。また、単語暗記テストを行うことにより、コミュニケーション能力の基礎となる語彙力を培うことも目標としている。									
進め方	1. 文法の演習問題を課題として与え、その解説を中心に授業を行う 2. 定期的に単語の暗記テストを行う 3. 定期的に英文法の小テストを行う									
履修要件										
	学習項目	(時間数)	学習到達目標							
学習内容	1 国際語としての英語について	(1)	英語の重要性について理解する							
	2 文型と動詞と時制	(2)	現在形と過去形を理解できる							
	3 完了形 1	(2)	現在完了形・現在完了進行形を理解できる							
	4 完了形 2	(2)	過去完了形・過去完了進行形を理解できる							
	5 助動詞 1	(2)	助動詞の用法を理解する							
	6 助動詞 2	(2)								
	7 まとめ	(3)	既習項目の復習							
	8 前期中間試験、テスト返却	(1)								
	9 不定詞 1	(2)	不定詞を含む複雑な文章を理解する							
	10 不定詞 2	(2)								
	11 分詞 1	(2)	分詞の用法を理解する							
	12 分詞 2	(2)								
	13 時制の一致 1	(2)	時制の一致を理解する							
	14 時制の一致 2	(2)								
	15 まとめ	(2)	既習項目の復習							
	16 前期期末試験、テスト返却	(1)								
	17 態 1	(2)	受け身表現を理解できる							
	18 態 2	(2)								
	19 動名詞 1	(2)	動名詞を含む表現を理解できる							
	20 動名詞 2	(2)								
	21 関係詞 1	(3)	関係詞の用法を理解する							
	22 関係詞 2	(3)								
	23 後期中間試験、テスト返却	(1)								
	24 仮定法 1	(2)	日本語にはない仮定法の項目を理解する							
	25 仮定法 2	(2)								
	26 比較 1	(2)	比較級の文章を理解できる							
	27 比較 2	(2)	最上級の文章を理解できる							
	28 応用英文法	(3)	既習の英文法を応用した文章を理解する							
	29 一年間のまとめ	(3)								
	30 学年末試験	(1)	既習項目の復習							
	31 テスト返却	(1)								
評価方法	中間・期末試験を80%、小テスト10%・提出物等を10%の比率で総合評価する。									
関連科目	英語 I 英語III									
教材	教科書：桐原書店編集部: Intensive English Grammar in 27 Lessons (桐原書店) 英単語帳：田中茂範監修『DATABASE3000』(桐原書店) 演習問題集：桐原書店編集部: Intensive English Grammar Training Book (桐原書店) 安河内哲也『英文法レベル別問題集2 基礎編』(東進ブックス)									
備考	特になし									

科目名	英語Ⅱ			担当教員	鳥越秀知				
学年	1年		通年	履修条件	必修	単位数			
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	08G01_20170	単位区分			
学習目標	1. 幅広い話題について読んだことを理解し、考えを伝える能力を伸ばすことを目的とする。 2. 基礎的な英文法の知識を修得することを目指す。 3. コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。								
進め方	まず教科書のリスニングをし、語彙や熟語定型表現等の学習をする。その後、教科書の音読・読み解きをし、文法等の説明をする。必要に応じて文章の暗記・ディクテーション・Q&A等を織り交ぜる。								
履修要件	特になし								
	学習項目	(時間数)		学習到達目標					
学習内容	1 オリエンテーション	(2)		年間を通じてコミュニケーションの意欲を育てる。					
	2 Hopes and Dreams	(2)		基本文型を理解させる。					
	3 Hopes and Dreams	(2)		進行形と完了形を理解させる。					
	4 We Love Ice Cream	(2)		B1:3					
	5 We Love Ice Cream	(2)		B1:3					
	6 We Love Ice Cream	(2)		B1:3					
	7 試験範囲のまとめ	(2)		B1:3					
	8 前期中間試験	(1)		B1:3					
	9 試験の解説・We Make Friends	(2)		B1:3					
	10 We Make Friends	(2)		不定詞（名詞的用法）と分詞を理解させる。					
	11 We Make Friends	(2)		B1:3					
	12 Little Wooden Flute	(2)		不定詞（形容詞的用法）と分詞を理解させる。					
	13 Little Wooden Flute	(2)		B1:3					
	14 Little Wooden Flute	(2)		B1:3					
	15 試験範囲のまとめ	(2)		B1:3					
	16 前期期末試験	(1)		B1:3					
	17 試験の解説 A Flying Wheelchair	(2)		不定詞（副詞的用法）と動名詞を理解させる。					
	18 A Flying Wheelchair	(2)		B1:3					
	19 A Flying Wheelchair	(2)		比較を理解させる。					
	20 The Most Beautiful Sight	(2)		B1:3					
	21 The Most Beautiful Sight	(2)		B1:3					
	22 The Most Beautiful Sight	(2)		B1:3					
	23 試験範囲のまとめ	(2)		B1:3					
	24 後期中間試験	(1)		B1:3					
	25 試験の解説・The Role of Zoos	(2)		関係代名詞を理解させる。					
	26 The Role of Zoos	(2)		B1:3					
	27 The Role of Zoos	(2)		B1:3					
	28 Color Associations	(2)		if／whether節を理解させる。					
	29 Color Associations	(2)		B1:3					
	30 Color Associations	(2)		B1:3					
	31 試験範囲のまとめ	(1)		B1:3					
	32 学年末試験	(1)		B1:3					
	33 試験問題の解答	(1)		B1:3					
	34			B1:3					
	35			B1:3					
評価方法	定期試験 90 %, 課題・取組態度など 10 % の比率で総合評価する。								
関連科目									
教材	World Trek English Course I, 浅羽亮一他著, 桐原書店 World Trek English Course I Workbook Standard, 桐原書店編集部, 桐原書店								
備考	特になし								



[第2学年]























科目名	英語 I			担当教員	畠 伸興				
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数			
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	08G02_20160	単位区別			
学習目標	英語を学ぶときには、4技能の習得が不可欠である。この授業では、Reading力を身につけることに重点を置く。そのためには、文法力および単語力が必要である。したがって、文法力の強化および語彙の習得に努める。								
進め方	教材は2種類用いる。①「学習目標」に述べたように、Reading力を身につけるために、さまざまな題材の英文を読んでいく。②また、語彙力を身につけるために、単語集を用いる。								
履修要件									
	学習項目 (時間数)			学習到達目標					
学習内容	1 導入および Chapter 1 Music: The Beatles	(4)	①の教材 英文を読み、単熟語の習得や文法や定形表現の習得に努める。この教材で学ぶ文法事項は次の通りである（番号はChapterの番号） 1 五文型 2 進行形 3 助動詞(1) 4 助動詞(2) 5 未来形 6 助動詞 7 比較 8 現在完了 9 過去完了 10 不定詞(1) 11 不定詞(2) 12 分詞 13 動名詞 14 関係代名詞(1) 15 関係代名詞(2) 16 関係副詞(1) 17 関係副詞(2) 18 間接疑問文 19 接続詞(1) 20 接続詞(2)			B1:2 B2:2			
	2 Chapter 2 Global Warming	(4)							
	3 Chapter 3 Communication	(4)							
	4 Chapter 4 Water	(4)							
	5 Chapter 5 Alternative Energy	(4)							
	6 ②の教材の点検および予備	(1)							
	7 ②の教材の点検および予備	(1)							
	8 前期中間試験	(1)							
	9 試験返却および Chapter 6 Paper	(4)							
	10 Chapter 7 Ecotourism	(4)							
	11 Chapter 8 Smoking	(4)							
	12 Chapter 9 Ecology: Wolves in Yellowstone Pai	(4)							
	13 Chapter 10 Discovery: The Sea Route to India	(4)							
	14 ②の教材の点検および予備	(1)							
	15 前期期末試験	(1)							
	16 試験返却および Chapter 11 Latitude and Longitude	(4)							
	17 Chapter 12 Overfishing	(4)							
	18 Chapter 13 Time	(4)							
	19 Chapter 14 Vikings	(4)							
	20 Chapter 15 New Zealand	(4)							
	21 ②の教材の点検および予備	(1)							
	22 ②の教材の点検および予備	(1)							
	23 後期中間試験	(1)							
	24 試験返却および Chapter 16 The Industrial Revolution	(4)							
	25 Chapter 17 Language	(4)							
	26 Chapter 18 Religion	(4)							
	27 Chapter 19 Volcanoes: Krakatoa	(4)							
	28 ②の教材の点検および Chapter 20 Rainforests	(4)							
	29 学年末試験	(1)							
	30 試験返却	(1)							
評価方法	年4回の定期試験を80%、課題を20%とし、総合評価を行う。								
関連科目	英語 II								
教材	① 登美 博之 著 「Polish Up Your English」 成美堂 ② 西谷 恒志 著 「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test」 成美堂								
備考	意欲をもって、受講することを望む。								

科目名	英語 II			担当教員	土屋紀子・鳥越洋子	
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	08G02_20170	単位区別
学習目標	1. 平易な英文を読む力を養うことを目的とする。 2. 基礎的な英文法の知識を修得することを目指す。 3. リスニングの力を養う。					
進め方	まず語彙・英文法等の練習を行う。次に、教科書の音読・読解等を行う。その後リスニングを行い、リピーティング、シャドウイング、ディクテーション等を行う。					
履修要件	特になし					
	学習項目	(時間数)		学習到達目標		
学習内容	1 オリエンテーション	(2)	英語の音読のポイントを理解する。	B2:1		
	2 New Trends of Japanese Tradition	(2)	現在完了、分詞構文を理解する。	B1:2		
	3 New Trends of Japanese Tradition	(2)				
	4 New Trends of Japanese Tradition	(2)				
	5 Precious Heritage of Language	(2)	過去完了・未来完了を理解する。	B1:2		
	6 Precious Heritage of Language	(2)				
	7 試験範囲のまとめ	(2)				
	8 前期中間試験	(1)				
	9 試験の解説	(2)				
	10 Precious Heritage of Language	(2)				
	11 We Must. We Can. We Will.	(2)	It is+形容詞+thatを理解する。	B1:2		
	12 We Must. We Can. We Will.	(2)	S+seem(ed) to doを理解する。	B1:2		
	13 We Must. We Can. We Will.	(2)				
	14 We Must. We Can. We Will.	(2)				
	15 試験範囲のまとめ	(2)				
	16 前期期末試験	(1)				
	17 試験の解答並びに授業評価アンケート	(2)				
	18 More Than Words	(2)	that節・付帯状況を理解する。	B1:2		
	19 More Than Words	(2)				
	20 More Than Words	(2)				
	21 Child Labor	(2)	助動詞+have+過去分詞を理解する。	B1:2		
	22 Child Labor	(2)	前置詞+関係代名詞を理解する。	B1:2		
	23 試験範囲のまとめ	(2)				
	24 後期中間試験	(1)				
	25 試験の解説	(2)				
	26 Child Labor	(2)				
	27 Anime and Manga	(2)	完了形の不定詞を理解する。	B1:2		
	28 Anime and Manga	(2)	代動詞・倒置を理解する。	B1:2		
	29 Anime and Manga	(2)				
	30 Anime and Manga	(2)				
	31 試験範囲のまとめ	(2)				
	32 学年末試験	(1)				
	33 試験問題の解説	(2)				
	34					
	35					
評価方法	定期試験 80 %, 取組態度, 課題など 20 % の比率で総合評価する。					
関連科目						
教材	LovEng. English Course II, 影浦攻他著, 啓林館 LovEng. English Course II 予習ノート, 啓林館編集部, 啓林館 HyperListening Elementary, Ichiro Hasegawa, 桐原書店 CDブック英会話・ぜったい・音読・入門編, 国弘正雄, 講談社インターナショナル					
備考	特になし					

[第3学年]







科目名	微分積分学			担当教員	谷口浩朗, 橋本竜太, 南貴之, 森岡茂		
学年	3年		学期	通年	履修条件	必修	単位数
分野	一般		授業形式	講義	科目番号	08G03_20080	単位区別
学習目標	2学年では、主に1変数関数の微分・積分を取り扱ってきたが、本科目は多変数関数とくに2変数関数を対象とする。偏微分の意味を理解し、計算ができるよう養成する。2重積分の概念を理解し、基本的な2重積分ができることを目指す。また、偏微分の応用や2重積分の応用など、2変数関数にまつわる諸問題を解決できるようになることが目標である。						
進め方	指定教科書にそって学習内容を解説して行く講義形式。各自の自主的な学習が必要なのはいうまでもなく、練習問題を通して学習内容の定着を目指す。前期は主に偏微分、後期は2重積分を取り扱う。基本的な概念の理解の上で、さまざまな計算ができるこを重視する。						
履修要件	特になし						
	学習項目 (時間数)				学習到達目標		
学習内容	1 2変数関数の定義	(2)			偏微分の意味を理解し、基本的な2変数関数の偏導関数を計算できる。		
	2 2変数関数の極限	(2)			D1:4		
	3 偏導関数	(2)			2次の偏導関数が計算できる。		
	4 偏導関数の計算	(2)			D1:4		
	5 接平面	(2)			さまざまな偏微分に関する応用問題が解ける。		
	6 合成関数の微分法（その1）	(2)			D1:4		
	7 合成関数の微分法（その2）	(2)			基本的な2重積分が計算できる。		
	8 前期中間試験	(1)			D1:4		
	9 高次偏導関数	(2)			簡単な立体の体積を計算できる。		
	10 多項式による近似	(2)			D1:4		
	11 極大・極小（その1）	(2)			変数変換により2重積分を計算できる。		
	12 極大・極小（その2）	(2)			D1:4		
	13 陰関数の微分法	(2)			2重積分の応用問題が解ける。		
	14 条件付き極値問題	(2)			D1:4		
	15 前期期末試験	(1)			2重積分の応用問題が解ける。		
	16 2重積分の定義	(2)			D1:4		
	17 2重積分の性質	(2)			その他プリントなど		
	18 2重積分の計算（その1）	(2)					
	19 2重積分の計算（その2）	(2)			定期試験 90%, レポートなど 10% で総合評価する。		
	20 積分順序の交換	(2)					
	21 立体の体積（その1）	(2)			関連科目 微分積分学（2年），応用解析学		
	22 立体の体積（その2）	(2)					
	23 後期中間試験	(1)			教材 教科書：高遠節夫他 著 「新訂 微分積分II」 大日本図書 問題集：田代嘉宏編 「新編 高専の数学3 問題集（第2版）」 森北出版 その他プリントなど		
	24 座標軸の回転	(2)					
	25 極座標による2重積分	(2)			備考 特になし		
	26 変数変換	(2)					
	27 広義積分	(2)			定期試験 90%, レポートなど 10% で総合評価する。		
	28 2重積分のいろいろな応用（曲面積）	(2)					
	29 2重積分のいろいろな応用（重心）	(2)			関連科目 微分積分学（2年），応用解析学		
	30 演習	(2)					
	31 学年末試験	(1)			教材 教科書：高遠節夫他 著 「新訂 微分積分II」 大日本図書 問題集：田代嘉宏編 「新編 高専の数学3 問題集（第2版）」 森北出版 その他プリントなど		
	32 試験問題解答	(1)					









[第4学年]



科目名	英語特論			担当教員	森 和憲				
学年	4年	学期	通年	履修条件	選択	単位数			
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	08G04_40012	単位区別			
学習目標	TOEIC 試験は「リスニング」と「リーディング」という2つの部門に分かれている。「リーディング」部門においては、文法力が必要となるので、その理解を深める授業を行う。また「リスニング」部門での得点を伸ばすために、リスニング力をつける授業も行う。さらに、TOEIC に関わらず、語彙力の必要があるので、その定着を図る。								
進め方	1. TOEICのリスニングテキストで聴解力を養う 2. 文法演習問題を解くことにより文法力を養う 3. テキストの音読筆写により、音声の矯正を行う								
履修要件	特になし								
	学習項目	(時間数)		学習到達目標					
学習内容	1 国際語としての英語について	(1)		練習問題を解くことを通じて、 単語・熟語の定着を図り、既習の文法事項を確認し、定着させる。					
	2 動詞	(1)							
	3 時制	(1)							
	4 助動詞	(1)							
	5 疑問	(1)							
	6 否定	(1)							
	7 TOEICリスニング模擬問題	(1)							
	8 前期中間試験、テスト返却	(1)							
	9 不定詞	(1)		練習問題を解くことを通じて、 単語・熟語の定着を図り、既習の文法事項を確認し、定着させる。					
	10 動名詞	(1)							
	11 分詞	(1)							
	12 無生物主語	(1)							
	13 話法	(1)							
	14 語彙	(1)							
	15 前期期末試験 テスト返却	(1)							
	16 関係詞	(1)		練習問題を解くことを通じて、 単語・熟語の定着を図り、既習の文法事項を確認し、定着させる。					
	17 受動態	(1)							
	18 名詞・代名詞	(1)							
	19 冠詞・形容詞・副詞	(1)							
	20 比較	(1)							
	21 TOEICリスニング模擬問題	(1)		練習問題を解くことを通じて、 単語・熟語の定着を図り、既習の文法事項を確認し、定着させる。					
	22 後期中間試験、テスト返却	(1)							
	23 仮定法	(1)							
	24 前置詞	(1)		練習問題を解くことを通じて、 単語・熟語の定着を図り、既習の文法事項を確認し、定着させる。					
	25 接続詞	(1)							
	26 イディオム	(1)							
	27 口語表現	(1)							
	28 TOEICリスニング模擬問題	(1)							
	29 TOEIC模擬問題	(1)							
	30 学年末試験	(1)							
	31 テスト返却	(1)							
評価方法	中間・期末試験を90%、提出物等を10%の比率で総合評価する。								
関連科目	特になし								
教材	ビッキー グラス 新TOEIC TESTリスニング問題集—New Version対応 (Jリサーチ出版) 上垣暁雄『即戦ゼミ11大学入試ベストポイント英語頻出問題740』(桐原書店)								
備考									













[第5学年]















